

2018年 2学期中間テスト 時事問題

1. 6月30日、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界遺産委員会は「(①)と天草地方の潜伏(②)関連遺産」を世界文化遺産に正式登録することを決定した。
1. ①長崎
②キリシタン
2. 7月2日、平昌五輪のフィギュアスケート男子で優勝し、五輪2連覇を達成した()選手が国民栄誉賞を受賞した。
2. 羽生結弦
3. 7月10日、安倍晋三首相は、西日本豪雨(平成30年7月豪雨)に関する「非常災害対策本部会議」で、被災地からの要請を待たずに物資を送る「()」を強化するよう指示した。
3. プッシュ型支援
4. 7月17日、安倍首相とEU(ヨーロッパ連合)のトウスク大統領・ユンケル委員長は、ほぼ全品目の関税撤廃や削減を盛り込んだ(①)に署名した。2019年初めまでの協定発効を目指す。実現すれば世界の国内総生産(GDP)の約3割を占める自由貿易圏が誕生、アメリカが進める(②)政策に対抗するものになる。
4. ①経済連携協定(EPA)
②保護主義
5. 7月18日、参議院定数を6増やす改正公職選挙法が成立。(①)選挙区の定数が6から8に、比例代表の定数が96から100になる。総定数は(②)になる。来年夏の参議院選挙から適用される。
5. ①埼玉
②248
6. 7月18日、(①)対策を強化する改正健康増進法が成立。東京オリンピック・パラリンピックを控えた(②)年4月に全面施行する。
6. ①受動喫煙
②2020
7. 7月20日、カジノを含む()実施法が成立。政府は()を東京オリンピック・パラリンピック後の成長戦略の柱と位置付けている。
7. 統合型リゾート(IR)
8. 7月23日、埼玉県()市で国内観測史上最高となる41.1度を観測した。
8. 熊谷
9. 8月12日、(①)に面する(②)、(③)、アゼルバイジャン、カザフスタン、トルクメニスタンの5カ国首脳は、「(①)の法的地位に関する協定」に署名した。協定には(①)にある資源の分割方法や他国の軍隊設置を防ぐことなどが盛り込まれ、(①)を海とも湖とも定義せず「特別な法的地位」に位置づけた。
9. ①カスピ海
②ロシア
③イラン
10. 9月4日、台風(①)号『チェビー』は「非常に強い」勢力を保ったまま徳島に上陸し四国・近畿地方を縦断、各地に大きな被害をもたらした。最大瞬間風速が観測史上最大の58.1メートルを記録した(②)では滑走路やターミナル周辺が高潮で浸水、閉鎖に追い込まれた。
10. ①21
②関西国際空港
11. 9月4日、()党は、玉木雄一郎共同代表を新代表に選出した。
11. 国民民主
12. 9月6日、北海道の(①)地方中東部を震源とするM6.7の地震が発生、厚真町で最大震度7を観測した。気象庁は「平成30年北海道(①)東部地震」と命名。苫東厚真石炭火力発電所にある発電機3台が停止し、北海道ほぼ全域が連鎖停電するという(②)が発生した。
12. ①胆振
②ブラックアウト
13. 9月8日、全米オープン・シングルス決勝で女子テニスの()選手がセリーナ・ウィリアムズ選手を2対0で破り優勝。日本選手として初めて四大大会(グランドスラム)のシングルスで優勝した。
13. 大坂なおみ
14. 9月19日、韓国の(①)大統領と北朝鮮の(②)朝鮮労働党委員長が「9月平壤共同宣言」に署名。アメリカの「相応の措置」を条件に寧辺の核施設の永久廃棄、(②)委員長のソウル早期訪問などで合意した。
14. ①文在寅
②金正恩
15. 9月20日、自由民主党の総裁選が行われ、安倍晋三首相が()氏を破り3選を果たした。
15. 石破茂

16. 9月22日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、小惑星探査機「①」から投下した探査ロボット「ミネルバ2」が小惑星(②)へ着陸したと発表した。小惑星の地表を移動できる探査ロボットの着陸成功は世界初。
17. 9月30日、沖縄県知事選挙の投開票が行われた。米軍(①)飛行場(宜野湾市)の名護市(②)への移設に反対してきた翁長雄志知事が8月に膵臓がんで死去。立憲民主、共産などの野党が支援する新人で、(②)移設に反対する前衆議院議員の(③)氏(無)が当選、前宜野湾市長の佐喜真淳氏(無=自民・公明・維新・希望推薦)ら3人を破った。
18. 10月1日、スウェーデンのカロリンスカ研究所は、2018年のノーベル医学生理学賞を、がんの(①)を開発した京都大の(②)特別教授と米テキサス大学のジェームズ・アリソン教授に授与すると発表した。
19. 10月2日、第(①)次安倍改造内閣が発足した。(②)制度改革を「今後の最大のチャレンジ」と位置づけ、全世代型(②)改革担当大臣を新設、茂木敏充経済再生担当大臣に兼務させた。
20. 10月6日、東京・築地市場(中央区)が閉場、(①)年の歴史に幕を下ろした。10月11日に(②)市場(江東区)が開場する。
21. 10月7日、アメリカ・シカゴマラソンで、(①)選手が日本人初の2時間5分台となる2時間5分50秒で3位に入った。日本記録更新により日本実業団陸上競技連合から報奨金(②)円が贈られる。
16. ①はやぶさ2
②リュウグウ
17. ①普天間
②辺野古
③玉城デニー
18. ①免疫療法
②本庶佑
19. ①4
②社会保障
20. ①83
②豊洲
21. ①大迫傑
②1億